

西丹沢方面の自然公園情報

日付：令和5年12月8日（金）

コース：モロクボ沢ノ頭－畦ヶ丸－西丹沢ビジターセンター

天気：晴れ 温度：14℃（畦ヶ丸避難小屋、12時頃）

●標高1000メートル以上ではすっかり落葉して、冬の様子でした。畦ヶ丸周辺の木々は葉を落とし、雪で白くなった富士山や南アルプスの北岳などが良く見えるようになったと感じました。

山頂近くの斜面北側では、霜柱も見つけました。山頂付近は、思いのほか風が強く寒かったり、汗で冷えてしまうことがあるため、山では調整できる防寒対策はしっかり準備しましょう。



モロクボ沢ノ頭からの展望（南アルプス方面）



モロクボ沢ノ頭と畦ヶ丸の間から見た富士山



畦ヶ丸山頂



霜柱

●西丹沢周辺の土壌は、石英閃緑岩が多く含まれていて、サクサクした歩き心地が面白い登山道です。しかし、この土壌は風化しやすいという欠点もあります。やせ尾根など滑りやすそうな所では足元に注意しましょう。



●ストックは足腰にかかる負担を軽減したり、バランスをとったりするのに便利です。しかし、先の尖った状態で歩くと登山道に穴が開き、そこに水が溜まり段々と穴が大きくなっていく可能性があります。丸太階段等に穴が開いた場合、階段にたまっている土壌が流れだし、ハードル化の原因となったりします。登山道の影響への軽減のため、雪や凍結などの滑り止め対策の時以外はストックの先にキャップの着用をお願いします。



ストック（キャップ付）

・普段はこの状態で使用が望ましい



※小さな穴から時間が経つにつれ段々と拡大していきます。

ストックで開いたと思われる穴



ストック（キャップなし）

・滑る危険のある場所で使用



浸食の進んだ丸太階段（赤丸が浸食場所）